

第96回 簿記実務検定第3級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	小	口	現	金	当	座	預	金	普	通	預	金
貸	付	金	仮	払	金	借	入	金	仮	受	金	資	本
資	本	金	交	通	費	消	耗	品	費	雑	費		

- a. 近畿商店から借用証書によって、現金 ¥800,000 を借り入れた。
- b. 従業員の出張にあたり、旅費の概算額として ¥97,000 を現金で渡した。
- c. 和歌山商店（個人企業）は、現金 ¥1,200,000 を出資して開業した。
- d. 定額資金前渡法を採用している新潟商店の会計係は、月末に庶務係から次の小口現金出納帳にもとづいて、当月分の支払高の報告を受けたので、ただちに小切手を振り出して補給した。

小口現金出納帳

収 入	令和 ○年	摘 要	支 出	内 訳			残 高
				交 通 費	消 耗 品 費	雑 費	
30,000	6 / 1	前月繰越					30,000
		合 計	23,800	14,600	5,700	3,500	

2 石川商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

6月19日 富山商店から貸付金に対する利息 ¥16,000 を現金で受け取った。

(伝票番号 No.52)

〃 日 福井通信社に、広告料 ¥470,000 を小切手#20を振り出して支払った。

(伝票番号 No.83)

3 滋賀商店（個人企業）の下記の取引について、

- (1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳（略式）に転記しなさい。
- (2) 買掛金元帳に記入して締め切りなさい。
- (3) /月末における合計試算表を作成しなさい。

ただし、
 i 商品に関する勘定は3分法によること。
 ii 仕訳帳における小書きは省略すること。
 iii 総勘定元帳および買掛金元帳には、日付と金額のみを記入すればよい。

取 引


/月 4日 得意先 奈良商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。
 B品 250個 @ ¥108 ¥27,000

5日 仕入先 京都商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。
 A品 400個 @ ¥120 ¥48,000

/2日 仕入先 大阪商店に対する買掛金 ¥28,000 を現金で支払った。

/3日 得意先 兵庫商店に対する売掛金の一部 ¥94,100 が当座預金口座に入金された。

/6日 仕入先 大阪商店から商品を仕入れ、次の納品書を受け取った。なお、代金は掛けとした。

No. 0007961	納 品 書	令和〇年1月16日		
〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番1号				
滋賀商店	御中	〒543-0042 大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻2-9-26		
下記のとおり納品いたします。		大阪商店 		
品 名	数 量	単 位	単 価	金 額
B 品	250	個	80	20,000
C 品	425	個	40	17,000
合 計				¥37,000

/8日 得意先 兵庫商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。
 A品 325個 @ ¥168 ¥54,600
 C品 350個 @ ¥60 ¥21,000

/9日 得意先 兵庫商店に売り渡した商品の一部について、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

C品 25個 @ ¥60 ¥1,500

次ページに続く

20日 仕入先 京都商店に対する買掛金の一部 ¥52,000 について、小切手を振り出して支払った。


24日 固定電話の利用料金 ¥4,600 を現金で支払った。

25日 本月分の給料 ¥38,900 の支払いにあたり、所得税額 ¥3,200 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。

27日 大津文具店から事務用の文房具を現金で購入し、次のレシートを受け取った。

大津文具店	
大津市御陵町3番1号 電話：077-523-****	
領 収 証	
20XX年1月27日	No.1234
文房具	¥1,900
合計	¥1,900
お預り	¥1,900
お釣り	¥0
上記正に領収いたしました	

30日 得意先 奈良商店に対する売掛金の一部を次の小切手で受け取った。

ZS0105	小 切 手		全国5001 0914-098
支払地	奈良県奈良市柏木町248		
	株式会社 全商銀行奈良支店		
金額	¥60,000		
上記の金額をこの小切手と引き替えに 持参人へお支払いください			奈良県大和高田市材木町8-3
拒絶証書不要			奈良商店
振出日	令和〇年1月30日	振出人	奈良一郎 奈良
振出地	奈良県大和高田市		

4 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

a. 企業は、経営活動をおこなうため、現金・商品・建物・備品などの財貨や、後日、一定金額を受け取る権利である売掛金・貸付金などの債権をもっている。このような企業の経営活動に必要な財貨や債権を資産といい、英語では という。


1. Liabilities 2. Assets 3. Net Assets

b. 簿記では、取引を記帳する方法のひとつとして、取引を二面的にとらえて借方の要素と貸方の要素に分解し、両者の結合関係を記録する方法がある。このように取引を二面的に記帳する方法を といい、借方の金額と貸方の金額は必ず等しくなる。

1. 単式簿記 2. 会計単位 3. 複式簿記

(2) 北海道商店（個人企業）の下記の資本金勘定と資料によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 期間中の収益総額 b. 期首の負債総額 c. 期末の資本金

資 本 金		資 料	
12/31 次期繰越 ()	1/1 前期繰越 2,160,000	i 期首の資産総額	¥5,738,000
	12/31 損 益 ()	ii 期間中の費用総額	¥6,154,000
()	()	iii 当期純利益	¥ 259,000

5 三重商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 精算表を完成しなさい。
 (2) 備品勘定および給料勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥723,000
 b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
 c. 備品減価償却高 取得原価 ¥400,000 残存価額は零(0) 耐用年数10年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

第96回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [解答用紙]

1	借 方	貸 方
	a	
	b	
	c	
	d	

2	入金伝票 No. _____ 令和〇年 月 日				出金伝票 No. _____ 令和〇年 月 日			
	科目	入金先	殿		科目	支払先	殿	
	摘要	金額			摘要	金額		
	合計				合計			

振替伝票 No. _____ 令和〇年 月 日							
勘定科目	借 方			勘定科目	貸 方		
	合計			合計			
摘要							

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	5 得点	総得点
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-----

試験場校	受験番号

資 本 金 7	売 上 8	仕 入 9
1/ 1 369,000		
給 料 10	通 信 費 11	消 耗 品 費 12

(2) (注意) 買掛金元帳は締め切ること。

買 掛 金 元 帳	
京 都 商 店 1	大 阪 商 店 2
1/ 1 76,000	1/ 1 28,000

(3) 合 計 試 算 表

令和〇年/月3/日

借 方	元 丁	勘 定 科 目	貸 方
	/	現 金	
	2	当 座 預 金	
	3	売 掛 金	
	4	繰 越 商 品	
	5	買 掛 金	
	6	所 得 税 預 り 金	
	7	資 本 金	
	8	売 上	
	9	仕 入	
	10	給 料	
	11	通 信 費	
	12	消 耗 品 費	

4

(1)

a		b	
---	--	---	--

(2)

a	¥	b	¥
c	¥		

3

得点

4

得点

5 (1)

精 算 表

令和〇年/2月31日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	350,000							
当座預金	678,000							
売掛金	800,000							
貸倒引当金		6,000						
繰越商品	538,000							
備品	360,000							
買掛金		1,020,000						
資本金		1,700,000						
売上		6,857,000						
受取手数料		47,000						
仕入	4,090,000							
給料	1,284,000							
支払家賃	912,000							
水道光熱費	579,000							
雑費	39,000							
	9,630,000	9,630,000						
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
当期純利益								

- (2) (注意) i 給料勘定の記録は、合計額で示してある。
 ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

		備	品	6
1/1	前期繰越	360,000		
		給	料	12
		1,284,000		

5
得点